

平成 26 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		部課コード	080200	TEL	2991-1811			
事業コード	080207	こころの健康づくり普及啓発事業						
担当部課	健康管理課							
開始年度	平成 8 年度	→	終了年度	平成 年度				
②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令			
	分野別計画・指針				精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年5月法律第123号)			
	関連・類似事業							
	総合計画の体系	章 健康・福祉	節 保健・医療	基本方針	生涯を通じた健康づくりを推進します			
事業開始の背景	本事業は、平成8年度から埼玉県(所沢保健所)との共同、共催事業として開始したが、平成14年度の精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の改正に伴い、市の所管となった。							
③事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)							
	精神障害及び精神障害者に対する正しい知識の普及を図り、精神障害者及びその家族が健やかに暮らせる地域社会づくりを推進する。							
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 24 年度	343,020 人			
	一般市民、障害当事者、その家族及び関係機関の職員並びに関係団体等の利用者			平成 25 年度	342,564 人			
事業の具体的な内容及び実施方法	市民に対して、広く心の健康や疾病、精神障害者に対する正しい知識を普及するための講座や作品展示を実施。 また、精神障害をもつ当事者やその家族に対して、疾病について理解を深めるための講座やつどいを実施。 ①こころの健康講座(発達障害・高次脳機能障害等)を3回開催。 ②精神疾患を治療中の本人とその家族を対象とした講義(統合失調症・強迫性障害・高次脳機能障害)を8回開催。 ③精神障害者による作品展示「こころの美術展」(10月21日～24日・市民ホール)を開催。 ④精神障害者の「つどい」(うつ病当事者・家族のつどい、強迫性障害のつどい、発達障害家族のつどい)延べ75回開催。							
④経費	＜会計種別＞	一般会計	平成 24 年度 (千円)	平成 25 年度 (千円)	平成 26 年度 (千円)			
	当初予算		595	660	689			
	決算(見込み含む)		410	365				
	(非常勤特別職員) (臨時任用職員)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	※「財源内訳」について 平成26年度のみ、当初予算の内訳となっています。		
	正規職員人件費	1.54 人	13,647	1.74 人	15,465			
	事業費合計		14,057	15,830				
財源内訳	一般財源	14,057	15,800	689				
	国・県支出金	0	0	0				
	その他()	0	0	0				
⑤実績	項目名	項目説明	単位	H 24	H 25	H26見込み	将来目標	
	活動実績	参加者数	講演会等の参加者数	人	1,295	994	1,100	1,500
		開催回数	講演会等の開催回数	回	91	86	90	95
⑥成果	項目名	項目説明	単位	H 24	H 25	H26目標値	将来目標	
	成果指標	参加者数	講演会等の参加目標人数に対する参加実人数	人	目標値	1,500	1,500	1,500
					実績	1,295	994	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大図る <input type="checkbox"/> 縮小図る
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています	%	達成率	86	66	↑どちらかをチェックしてください		
⑦改善点	平成25年度中に改善した点(どのように改善したか、それにより何がどうなったかを具体的に記載してください)							
	講演会の実施に向けては当事者・家族等の要望を聞き入れ企画を行った。また講義の情報をより伝わりやすくするためスクリーンを2ヶ所以上用意し好評を得た。こころの美術展は地域の精神保健医療福祉関係機関や団体に幅広く協力を求め実施した。周知方法はチラシやホームページ、精神保健福祉センターのホームページを通じ行い、市外の医療機関等まで含めて幅広く丁寧に周知をおこなった。							
⑧評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了 方今向後の	事業実施方法(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	うつ病のつどい(当事者向け月2回と家族向け月1回)については自殺防止対策にかかる普及啓発事業へ移行したため、その他の精神疾患等の普及啓発を積極的に行っていく。		
			次年度予算	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持	理由	高次脳機能障害や発達障害などの新たな精神障害分野に対する正しい知識の普及や理解の促進を積極的に推進する必要があるため。		
	今年度の状況と今後の方向性	精神障害者数は依然として増加傾向にあり、市民にこころの健康問題や精神障害について正しい知識の普及啓発を行うことは重要である。これまでも講座等の開催を進めているところであるが、今後も当事者や家族の希望、社会情勢、市民のニーズ等を見定め、効果的なPR方法も検討しながら積極的に事業実施に取り組む。						
	評価日	H26.8.12	評価者職氏名	健康管理課長 瀬能 幸則				
⑨環境影響	有益な環境影響				有害な環境影響を及ぼす原因活動	文書の作成	規制を受ける環境法令等	無
							緊急事態	無